

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 平日昼グループ(要旨)		
日時	平成18年11月10日(金) 午前10時~12時	場所	市役所東館8階 805会議室
出席者	平日昼グループ 4名(前川、和田、土井、松本)		
	職員 2名(武林、和田)		
内 容			
<p>1.健康福祉計画課の説明について</p> <p>市民団体から出てきている市民は、充て職で出てきている。これまでは、このやり方でやるしかなかったと思う。今回の地域福祉計画の策定方法は、西宮にしてはよく市民の意見を聞いてやっているほうだと思う。</p> <p>実際に地域福祉を担っているのは社会福祉協議会だが、計画をつくった担当課と社会福祉協議会がリンクしていないのは残念。</p> <p>高齢化社会の中で高齢者と若い世代の人が一緒にどのようにまちづくりをしていくかを考えていく必要があると思う。</p> <p>各地域の実情に沿った地区別の計画があっても良いと思う。</p> <p>地域で抱える問題も様々なので、各地域で問題について考えていく必要もある。</p> <p>せっかく行政の担当者が説明に来ているので意見交換がしたい。</p> <p>結果ではなく、計画策定段階での課題等について聞きたかった。</p> <p>2.アドバイザーの説明について</p> <p>(1)市民政策提案手続について</p> <p>市民政策提案手続では、提案のハードルを下げるとコストがかかるようになる。またハードルを上げると市民の負担が増してしまう。どちらがよいのかを考える必要はある。</p> <p>(2)市民意見提出手続(パブリックコメント)</p> <p>パブリックコメントではすでに原案が出来上がってしまっている。もっと前の段階から市民の意見を取り入れる仕組みも必要。</p> <p>意見提出手続の前段階に市民の意見を取り入れようとしても、無責任な意見によって混乱する可能性があるので仕組みを整えることと平行して、市民力を高めていけるようなことも考えていけない。市民力は自然発生的に高まるわけではないので、そのための何らかの支援や仕組みが必要。</p>			

3. その他

(1) 地域づくりに対する行政の支援について

西宮市といっても広いので各地域によって性格が違う。各地域で自分たちに合ったまちづくりができるようにしたほうが良いのでは。

地域格差が広がっていくように思う。

地域格差が広がってもいい。そのほうが結果的に良い方向にいくように思う。(元気な地域に刺激を受けて、見習うようになる。)

地域格差があるというのはそれぞれ特色があるということだと思う。

地域に頑張ろうという意識を植え付けていかなければいけない。

行政はがんばろうとする地域に対して支援をしていく仕組みが必要。

現状では、地域が頑張ろうとしても支援するような制度がないように思う。

地域コミュニティの現状を行政は把握する必要があるように思う。

(2) 市民の意見について

計画等を策定する場合に、行政だけが一方的に決めるよりも、策定前から市民と行政と一緒に考えていくほうが結果的にはスムーズに進んでいくように思う。そうするためには、計画案を作成する段階から市民が議論に入っていく必要がある。

市民の意見を全て吸い上げることが良いのかどうかは分からない。無責任な意見も多い。

市民が計画案の策定段階から入っていくためには、市民側も勉強が必要。市民力をもっと高めていかないといけない。受身ではなく、自分たちでも勉強していくようにしないと。

地域も意見を出す場合には、市民同士でも十分な議論が必要。

参画と協働についての考え方、意味をこの策定委員会でも整理する必要もあるのではないかと。単に反対の意見を言えるようにするのが参画ではない。権利と責任が生じる。

(3) その他

市民参画を進めるためには広報のあり方、やり方も見直していかないといけない。

市民が参加しやすい環境をどのように作るかも考えないといけない。

一つのテーマにこだわるのではなくて、全体的な仕組みを作っていくほうが良い。

宗像市の条例は参考になると思う。

市民の意識も行政に頼りすぎのところがある。自分たちで出来ることは自分たちでやっていくという意識が大事。公的な部分と私的な部分の役割を意識しないといけない。

4. 次回以降の日程について

(1) 運営委員会・・・11月11日(土)午後6時～8時

(2) 全体会議・・・11月25日(土)午後6時30分～9時30分

(3) グループ会議・・・12月7日(木)午前10時～12時